

建設コンサルタンツ協会 近畿支部

インフラ整備70年 講演会(第1回)

若手技術者におくる

インフラ整備にかけた、先人たちのメッセージ

「社運を賭けて人跡未踏の秘境黒部に築造した
水力発電ダム ー黒部川第四発電所ー」

講演者:吉津 洋一(株式会社 ニュージェック)

大田 弘(株式会社 熊谷組)

小野 俊雄(株式会社 安藤・間)

コーディネーター:大西 有三(京都大学名誉教授)

日 時:2019年

7月16日(火)

講演会14:30~17:20(受付開始13:30)

交流会17:40~18:40

場 所:大阪科学技術センター

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8-4

■講演会

定 員:300名

会 費:1,500円(学生 無料)

■交流会

定 員:150名

会 費:2,000円

申込方法:ホームページよりお申込み下さい

<https://www.kk.jcca.or.jp/>

※本講演会は建設コンサルタンツ協会 CPD プログラムとして
認定されています。(番号:201905140007 2.83単位)

主催:(一社)建設コンサルタンツ協会 近畿支部

共催:(公社)土木学会 関西支部

後援:国土交通省近畿地方整備局、(一社)近畿建設協会、(一社)日本建設業連合会 関西支部、(一社)関西地質調査業協会
NPO法人あすの夢土木

写真:黒部ダム

建設コンサルタンツ協会近畿支部「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業であるといつて過言ではありません。それらの事業の記録はさまざまな形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

戦後の代表的なインフラ整備事業に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、将来のインフラ整備事業にかかわる若手技術者に、先人たちは技術者としてなにを考え、どう行動することにより困難な状況を克服してきたかを知ってもらい、インフラ整備への情熱をもってもらうとともに、これらの事業や情熱を広く一般の方々に伝えたいと思っています。

講演プログラム

| | |
|-------------|--|
| 14：30～14：40 | あいさつ（講演趣旨説明） |
| 14：40～17：20 | 講演会 1. 計画編 2. 『黒部の物語～人・使命・情熱～』（DVD 上映） 3. 施工編 ・ 破碎帯 ・ ダム 4. 設計・運用編 若手技術者との意見交換、質疑応答 |
| 17：40～18：40 | 交流会 |

申込み方法：建設コンサルタンツ協会近畿支部 HP（<https://www.kk.jcca.or.jp/>）よりお申込みを行って下さい。

応募者多数の場合はお断りする場合がありますので、ご了承ください。

問い合わせ先：（一社）建設コンサルタンツ協会 近畿支部 TEL：06-6945-5891

講演者紹介



吉津 洋一

関西電力株式会社 北陸支社長、
執行役員 水力事業本部副本部長を歴任
現在、株式会社ニュージェック 代表取締役社長



大田 弘

株式会社熊谷組 代表取締役社長、代表取締役会長を歴任
現在、同社社友

写真提供：日刊工業新聞社



小野 俊雄

株式会社間組（現 株式会社安藤・間）代表取締役社長
株式会社安藤・間 代表取締役会長を歴任
現在、同社取締役特別顧問

コーディネーター



大西 有三

京都大学理事、副学長
現在、京都大学名誉教授、建設コンサルタンツ協会近畿支部顧問